

# 利用の手引き



「横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園」は・・・・・・・・

伊豆半島南西海岸の恵まれた自然環境のもと、各種の野外活動や規律ある集団宿泊生活の体験を通して、自然の素晴らしさ、大切さを知らせるとともに、協力・協調・友情・奉仕の精神を学び、豊かな情操を培い心身ともに健全な少年育成の場として、適した環境と機会を提供しております。

横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園

## 目 次

- 1 施設の概要・・・P2
  - (1) 設置目的・・・P2
  - (2) 位置と環境・・・P2
  - (3) 交通・・・P3
  - (4) 施設・・・P4
  - (5) 平面図・・・P5
  
- 2 利用のための企画・立案から実施へ・・・P6
  - (1) 利用目的について・・・P6
  - (2) 企画・立案について・・・P7
  - (3) 実施にあたって・・・P8
  
- 3 利用にあたって・・・P9
  - (1) 利用団体の範囲・・・P9
  - (2) 利用できない日・・・P9
  - (3) 問い合わせから入園までの手順・・・P9
    - ・使用許可申請書について・・・P10
    - ・特別注文について・・・P14
    - ・使用宿泊室について・同時利用団体の確認について・・・P15
    - ・予約の取り消しおよび内容の変更について・当施設に要する諸経費について・・・P16
  
- 4 入園式から退園式まで・・・P18
  - ・持ち物について・・・P18
  - ・入園時について・・・P18
  - ・入園式について・退園時について・・・P19
  - ・宿泊室への移動について・・・P19
  - ・宿泊室利用に関してのお願い・・・P20
  - ・生活基本時間について・・・P21
  - ・生活班の仕組みについて・・・P22
  - ・食事（食缶表）について・・・P23
  - ・食事（配膳～片づけ）について・・・P23
  - ・入浴について・・・P25
  - ・シーツ・枕カバーについて・・・P26
  - ・ベッドメイクについて・・・P26
  - ・シャワー室の使用について・・・P27
  - ・退園準備について・・・P27
  - ・退園式について・・・P28
  - ・貸し出し備品について・・・P28
  - ・引率指導者へのお願い・・・P29
  - ・医療機関について・・・P30
  - ・非常時について・・・P31
  - ・共有部分の清掃について・・・P31
  - ・浴室の清掃について・・・P33
  - ・トイレの清掃について・・・P33
  
- 5 野外活動・・・P34
  - ・活動計画について・・・P35
  - 参考プログラム紹介

# 1. 施設の概要

## (1) 設置目的

恵まれた自然環境の中での集団宿泊生活、野外活動、自然観察等を通して、体力の向上を図るとともに豊かな情操および社会性を培い、心身ともに健全な少年を育成するため、「横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園」を1980年10月に設置しました。



## (2) 位置と環境

学園のある子浦地区は、伊豆急行の終点「伊豆急下田駅」からバスで50分、静かで素朴な伊豆半島の西南海岸に位置しています。



この地は、年間を通して霜の降りない温暖な気候とぬけるような青空、入り組んだ海岸線による断崖や岩礁地帯など変化に富んだ海岸風景が見られます。学園は、これらの良好な風景と昔からの天然の良港として名高い妻良湾を見下ろす高台に建てられています。

春から秋にかけて、穏やかな妻良湾でのカッター体験やカヤック体験、そして夏は海水浴や磯遊びなど豊かな海とのふれあいをはじめ、春秋には潮風に吹かれながらのハイキング、冬は菜の花が咲く丘の散策など四季それぞれ変化に富んだ自然の中での活動ができます。



### (3) 交通

① 電車・バス（所要時間：3時間30分）

横浜～（特急踊り子号2時間20分）～伊豆急下田～（バス50分）～臨海学園

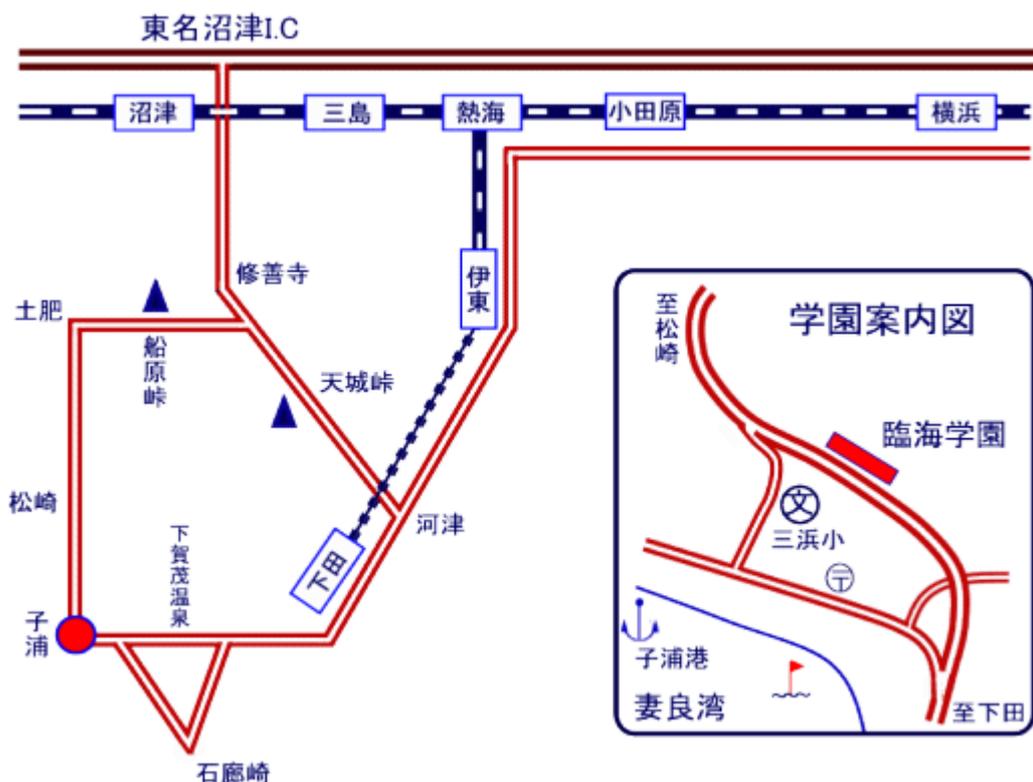
＊路線バスの本数が少ないので、伊豆急行下田駅前の連絡時間の確認が必要です。

② 貸し切りバス・自家用車

Aコース： 横浜→小田原→熱海→伊東→下田→子浦

Bコース： 横浜→（東名）→沼津→修善寺→（天城峠）→下田→子浦

Cコース： 横浜→（東名）→沼津→修善寺→（船原峠）→土肥→松崎→子浦



## (4) 施 設

名 称	横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園				
所 在 地	〒415-0532 静岡県賀茂郡南伊豆町子浦 1437 TEL 0558-67-0255 FAX 0558-67-0420				
位 置	東経138° 47' 北緯34° 40' 標高 94m				
収 容 人 員	208名				
敷 地 面 積	8,122㎡				
屋 内 施 設	2,764㎡ (鉄筋コンクリート、一部3階建)				
	1 階		2 階		3 階
宿 泊 室	6 (1室8人)	宿 泊 室	18 (1室8人)	図 書 室	1
指 導 者 室	1 (1室4人)	指 導 者 室	3 (1室4人)	屋 上	40㎡
ラ ウ ン ジ	105㎡	ホ ー ル	56㎡	医 務 室	1 (ベッド3)
大 研 修 室	1	食 堂	1 (最大206人)	会 議 室	1 (椅子14, 机6)
小 研 修 室	1	便 所	女 (2ヶ所)	便 所	男女各1ヶ所
洗 面 所	1ヶ所 (各水道4)	洗 面 所	2ヶ所 (各水道8)		
浴 室	男女各1ヶ所	談 話 室	1 (椅子10, 机4)		
シャワー室	男女各1ヶ所	事 務 室	63㎡		
便 所	男3ヶ所、女1ヶ所	身 障 者 用 便 所	1ヶ所		
野 外 施 設	キャンプファイヤー場				



## 2. 利用のための企画・立案から実施へ

このたび、当学園の施設をご利用いただくにあたり、下記の事項を十分ご検討のうえ、安全には万全を期し、充実した諸活動および集団宿泊研修ができるようにご計画ください。

### (1) 利用目的について

#### 1. 寝食を共にする『ふれあいの場』として

- ① 相互の親睦・信頼
- ② 新たな自己の発見・開発
- ③ 友達の新たな面の発見

人間関係を育てる

#### 2. 集団生活体験により『個人と集団との関係を認識する場』として

- ① 自分の役割や在り方の自覚
- ② 他人との関わり方

社会性を育てる

#### 3. 規律ある生活体験より『日常生活を豊かにする場』として

- ① 他人に迷惑をかけない生活
- ② 時間を守る、大切さを知る
- ③ 挨拶・マナーを知る

普段の自己の生活の見直しをする

#### 4. 恵まれた自然環境のもと『自然とのふれあいの場』として

- ① 自然の素晴らしさを知る
- ② 自然の厳しさを知る
- ③ 自然の偉大さを知る

情操教育に役立てる



## (2) 企画・立案について

利用効率を高めるために、利用の意義とねらいを参加者全員が理解するとともに、目標やテーマを明確にしてください。

1. 利用のねらい・目標の検討、運営委員を組織する
2. 原案作成 → 大まかなプログラム・下見の資料づくり
3. 事前打ち合わせ・下見 → 施設および環境をよく理解する
4. 事前準備・指導

- ① 引率者間の共通理解を求めるとともに指導資料の収集・作成を行います。
- ② 子ども達の組織をつくり、研修の内容やねらい・目標の説明と理解を求め、合わせてリーダーを養成します。
- ③ 保護者に施設や研修内容を紹介し、家庭の話題として参加協力を願うとともに、健康調査・管理を依頼します。

### 5. プログラム作成・・・活動内容だけではなく、生活面も含む

- |             |   |
|-------------|---|
| プログラム作成の留意点 | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 利用施設と事前打ち合わせを十分に行い、施設の機能をフルに生かすこと。</li><li>2. ねらいや目標と活動内容とに結びつきがあること。</li><li>3. 多くの活動を望まず、無理のないように活動計画をたてること。</li><li>4. 家庭や地域では出来ない活動をできるだけ多く取り入れること。</li><li>5. プログラムの流れに変化と調和をもたせること。</li><li>6. 雨天時のプログラムを当初より考えておくこと。</li><li>7. 同一期間滞在する他の団体と連絡を取ること。</li><li>8. 時間のゆとりをもつこと。</li><li>9. 自然とのふれあい、仲間とのふれあいの機会を多くもつこと。</li><li>10. 規律ある集団宿泊生活をするために、工夫がなされていること。</li><li>11. 企画・立案から子どもの参加が出来ること。</li><li>12. 施設までの行程も活動と位置づけて利用すること。</li><li>13. 子どもの体力を考え、健康と安全に対して配慮すること。</li></ol> |
|-------------|---|

### (3) 実施にあたって

1. 指導者は、それぞれの係を分担して運営・指導にあたるとともに、**横の連絡を密にし**、指導者全員一致して運営にあたるようにしましょう。
2. 予想外の条件によってプログラム変更を求められる場合、**計画に固執することなく柔軟な姿勢で対処**することが重要となります。
3. 体力・健康・安全に留意し、**規律ある生活を大切に**しましょう。
4. ボランティア・アルバイトなど他の指導者を求めるときは、**事業のねらい・指導内容について十分理解を求め**ることが、円滑な実施のためには大切です。
5. 施設・設備品の取扱いには十分配慮していただき、他の**同時利用団体があれば、連絡を密に**していただくようお願いいたします。

#### ☆下見のポイント

- ① 実施に要する経費の算定に必要な情報を入手  
例 食費・シーツクリーニング料・指導料・材料費・交通費・借用料・光熱水費など
- ② 施設において厳守してほしい事項と要望の確認  
例 禁酒・喫煙所・シャワー室の使用法・食事の方法・「起床」「消灯」「食事」「入浴」の時間など
- ③ 防災上の注意、立地および環境条件  
例 緊急避難路確認・地震警報発令時の行動など
- ④ 健康・安全対策に必要な情報や資料を入手  
例 病院への手配・医務室の医療品・野外活動地の実地踏査など
- ⑤ 施設および備品の破損・忘失の際の手続きと処理について確認  
例 弁償を要する場合・自由時間中の発生に対する処理など
- ⑥ 利用時の生活上の組織づくりに必要な情報や資料を入手  
例 宿泊室の割り当て・清掃分担・必要な係りと活動など
- ⑦ 清掃活動について参加者に事前指導できる資料を入手  
例 清掃分担区分表・清掃用具の配置状況・清掃方法と終了報告など
- ⑧ 貸出し物品の借用方法と返却方法の確認  
例 シーツ・研修用具・自由時間に使用する用具など
- ⑨ 同時利用の他団体の確認と連絡先  
例 他団体のプログラムを把握・施設共用部分の割振り、時間の調整など
- ⑩ 活動に必要な資料の収集  
例 カッター・カヤック・ハイキング・ウォークラリー・クラフトなど
- ⑪ 新型コロナウイルス感染症対策  
例 施設内での対策、野外活動時の対策など

※ その他 手引きや資料などを入手するとともに、多くの他団体の活動事例などの情報を収集していただき、生活や活動を具体的に把握してください。

# 3. 利用にあたって

## (1) 利用団体の範囲

営利を目的としない適切な活動内容を持ち、指導者または責任者の引率する以下の団体

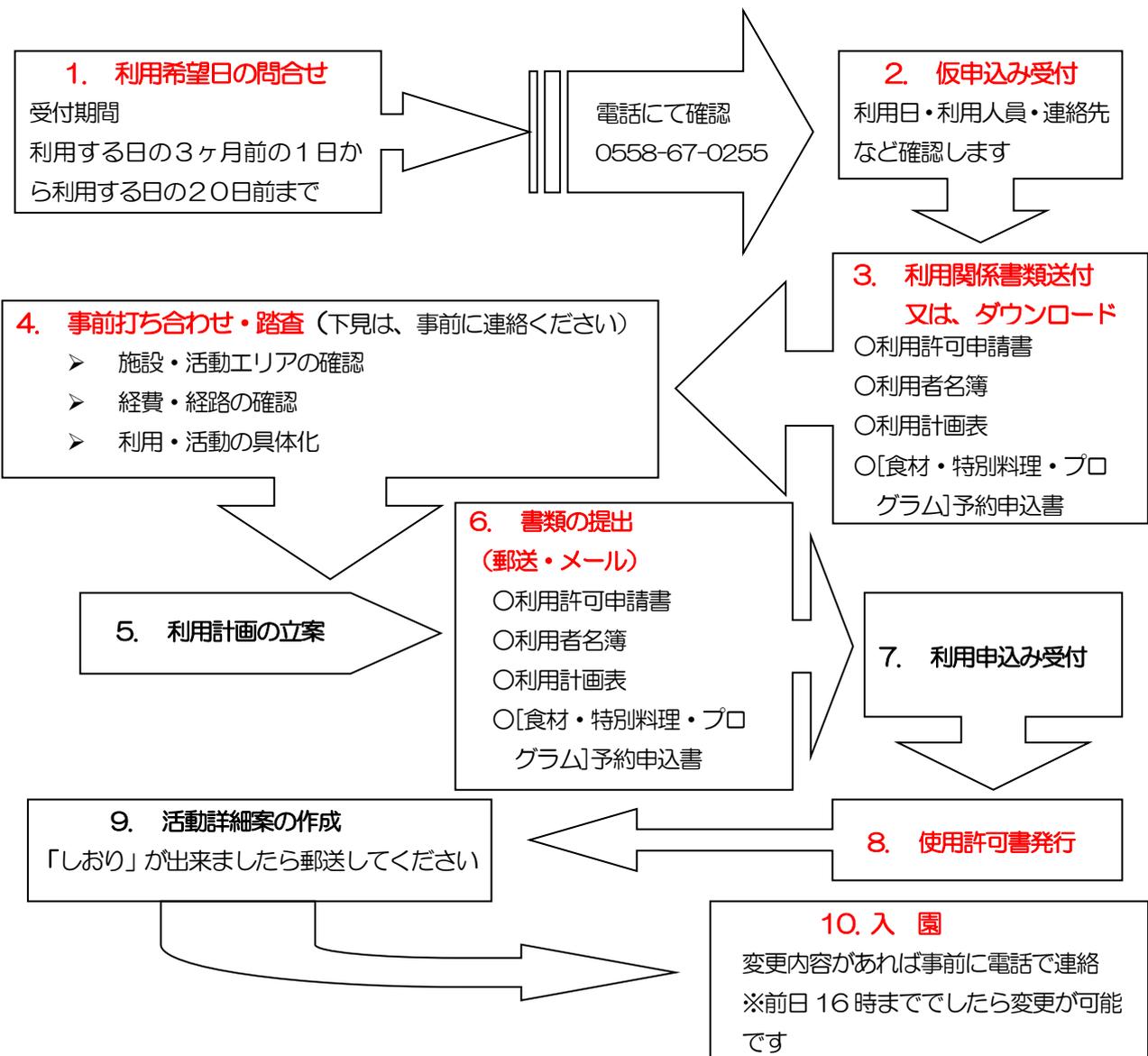
- ① 横浜市内に所在する青少年、または野外活動を目的とする団体
- ② 横浜市民を対象とした野外活動事業や研修事業を展開する団体
- ③ 横浜市の学校等教育機関
- ④ その他特に横浜市教育委員会が認めたもの

※利用人数は、20名以上200名以下とします。20人に満たない場合は、家族利用扱いとなります。

## (2) 利用できない日

毎月1回の施設点検日（原則として第3月曜日）

## (3) 問い合わせから入園までの手順



## 使用許可申請について

使用申請書は『**使用者名簿**』『**使用許可申請書**』『**使用計画表**』『**〔食材・特別料理・プログラム〕予約申込書**』の4点セットです。

ホームページからダウンロードができます。

公益財団法人 横浜市スポーツ協会ホームページ [www3.yspc.or.jp](http://www3.yspc.or.jp)

南伊豆臨海学園ホームページ [yokohama-sport.jp/minamiizu-ysa/](http://yokohama-sport.jp/minamiizu-ysa/)



南伊豆臨海学園ホームページ  
QRコード

### 電子メールでの申請

4点セットを添付して以下のアドレスへ送信してください。

[minamiizu-school@yspc.or.jp](mailto:minamiizu-school@yspc.or.jp)

### 郵便での申請

用紙は2枚複写式になっております。

表の薄い用紙を**返信用封筒・切手を同封の上**、当学園までご郵送ください。

### 郵送先

〒415-0532 静岡県賀茂郡南伊豆町子浦 1437  
横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園  
TEL:0558-67-0255 FAX:0558-67-0420

申請書の提出期限は**利用日の20日前まで**です。

横浜市少年自然の家使用許可申請書

- ① 郵便番号
- ② 団体（学校）の住所
- ③ 団体名（学校）
- ④ 団体の代表者氏名（校長）
- ⑤ 電話番号
- ⑥ 引率責任者氏名（来園時の責任者）
- ⑦ 電話番号を記入

- ⑧ 南伊豆臨海学園と記入

- ⑨ 使用期間と宿泊数を記入

年 月 日

（郵便番号 ① ）

申請者 所在地

②

学校（団体名）

③

代表者氏名

④

電 話

⑤

引率者氏名

⑥

電 話

⑦

財団法人横浜市体育協会 会長

施設 の 名 称	横浜市少年自然の家（⑧）					
使 用 期 間	年 ⑨ 月 日から 年 月 日まで 泊 日					
使 用 人 数	区分	小学生	中学生	その他	引率者・指導者	計
	性別					
	男	人	人	⑩ 人	人	人
	女	人	人	人	人	人
	計	人	人	人	人	人
食 事 数	区分	第1日	第2日	第3日	第4日	
	朝食	食	食	食	食	食
	昼食	食	⑪ 食	食	食	食
	夕食	食	食	食	食	食
宿 泊 人 数	人		人		人	
備 考	1 使用計画を添付してください。 2 交通区分（貸切バス、定期バス、電車、その他） 3 キャンプファイアーを実施（する、しない） ※ （ ）の項目を○で囲んでください。					⑩ 使用人数の内訳を記入 注 先生・ボランティアは引率指導者 写真屋、バス運転手はその他の欄へ

横浜市少年自然の家を使用したいので、次のとおり申請

- ⑪ 食事数を記入
- 注 1 泊で帰る人がいる場合や2日目に日帰りでボランティアが来るなど食数に変化がある場合は細かく記入してください

(A4)



野外活動センター使用計画表

使用団体名

引率責任者名

時間 \ 日程	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )
6:00				
7:00		⑰		
8:00				
9:00		↑カッター・カヤック	↑ハイキング	
10:00		↓	↓	
11:00		↑カッター・カヤック	・退園式	
12:00		↓		
13:00	・入園式	↑浜レク・つり		
14:00		↓		
15:00	↑あじの干物	↑浜レク・つり		
16:00	↓入浴	↓入浴		
17:00	↑	↑		
18:00	食事	↑食事		
19:00	↑肝試し	↑キャンプファイヤ		
20:00	↓	↓		
21:00				
22:00				

⑰ 活動内容を記入  
※何時から何をやるかを記入してください

## 特別注文について

飲料水（ジュース）・クラフトおよび活動に必要な備品を使用する場合、事前に『[食材・特別料理・プログラム]予約申込書』を提出してください。

夏季の熱中症予防のため水分補給はこまめに行ってください。この注文表で承ります。

PMS文書番号: Baj07050-01

### [食材・特別料理・プログラム]予約申込書

以下の「個人情報取扱いについて」に同意の上、ご記入ください。

申込日	令和 年 月 日	① 申込日・学園 を利用する期間 を記入
利用期間	令和 ①年 月 日 ~ 月 日	
団体名	② 横浜市立〇〇小学校	② 団体名を記入
連絡先	氏名	③ 連絡先・人数を記入 学園から質問があれば 連絡をする事があります
	住所	
	電話 ③	
人員構成	参加者数	⑥ 数量を記入
	指導者数	

受渡日時	品名	数量	備考
④	⑤	⑥	⑦
④ 受渡日時を記入			
⑤ 飲料水・具体的な商品を希望する場合は商品名を記入（例：ポカリ・なっちゃん）クラフト（クラフト名）を記入 なお、希望する商品が納入できない場合は、連絡先へ連絡させていただきます			
⑦ 受渡の場所（例：カヤックの浜）・容量・容器（例：500ml ペットボトル）を記入			
⑧ 個人情報の取扱いを確認			

#### 個人情報の取扱いについて

- (1) 事業者の名称: 公益財団法人横浜市スポーツ協会
- (2) ご記入いただいた個人情報は、予約注文品の管理のために利用します。
- (3) ご記入いただいた個人情報について、第三者へ提供することはありません。
- (4) 個人情報の取扱いについて、委託することはありません。
- (5) 当協会が保有する個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去および第三者への提供の停止に応じる窓口は、(7)の問い合わせ先と同じです。
- (6) 必要事項をご記入いただけない場合、お受けできない場合があります。
- (7) 当協会の個人情報取扱いに関する苦情、相談等の問合せ先  
個人情報保護管理責任者 公益財団法人横浜市スポーツ協会 事務局長  
お問い合わせ窓口 総務部総務課 電話045-640-0011 FAX045-640-0021

## 使用宿泊室について

当学園へ「**使用許可申請書**」をご提出いただきますと、折り返し「**使用許可書**」を発行いたします。

学校の体験学習で2校が同時に利用される場合は学園では調整を行いません。  
学校間で打ち合わせを行ない、部屋数を調整してください。

**使用許可書**に利用できる部屋番号が明記されておられません

一般の団体利用について提供される部屋数は、利用者すべてを男女に分け、それぞれを部屋の定員8名で割った数を、団体へ提供する部屋数とさせていただきます。

**使用許可書**に利用できる部屋番号が明記されております

利用申込み締切り後使用部屋数に余裕が有る場合や指導者の部屋、班編成による部屋数の割り増し利用についてはご相談ください。

## 同時利用団体の確認について

同じ日に利用する他の団体があるか学園に問い合わせる

1. 全館貸切りで利用する

2. 現時点では単独利用です

3. 現時点で（ ）団体同時利用の予定です

**利用予定日の20日  
前までに再度確認し  
てください**

他団体の活動計画の確認が出来ましたか？

カッター・カヤック・キャンプファイヤー・研修室使用など、人員や場所に制限のある活動の調整が必要となります（※調整は学園が行います）

## 予約の取り消し及び内容の変更について

予約内容の取り消しおよび変更が発生しましたら、速やかに学園までご連絡ください。  
施設有効利用および食事材料などの発注関係がございます。

参加者の人数変更

電話にて学園まで連絡

利用期間全日程の食数の変更は、**利用日前日（入園日前日）16時まで**となります。

取り消しおよび大幅な利用人員の変更

必ず第一報として電話で連絡

「使用許可書」を同封の上、文書にて連絡してください

悪天候が予想される場合は、こまめに学園と連絡を取ってください

なお、「使用許可申請書」提出以前の仮予約の段階における場合も、同様に電話でご連絡ください。

## 当施設に要する諸経費について

### 光熱水費（税込）

学校以外の**一般利用者**および**横浜市以外の団体**等の利用者には、光熱水費をご負担いただきます。

横浜市内の一般利用	450円/1人1泊
横浜市外の団体・一般利用	800円/1人1泊

### 給食費（税込）

	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	680円	600円	900円	2,180円
小学生	650円	550円	800円	2,000円
3歳～未就学児	630円	500円	780円	1,910円

※ 特別料理については、別途ご相談ください

### クリーニング代（税込）

シーツ	380円/枚
-----	--------

### 寝具使用料（税込）

寝具	250円/1セット
----	-----------

注 寝具・毛布などを汚した場合は、別途徴収させていただきます。

寝具（マットレス・ベッドパッド）	2,040 円／枚
毛布洗濯代（夏用）	510 円／枚
毛布洗濯代（冬用）	1,020 円／枚
枕洗濯代	310 円／枚



### 活動にともなう諸経費

活動内容により、下記の経費（税込）をいただきます。

活 動 内 容	金 額	備 考
カッター体験		経費はかかりません
シットオントップカヤック：1日 ：半日	4,000 円／艇 2,000 円／艇	小・中学校利用は1日 2,000 円 半日 1,000 円
スラックライン：1日 ：半日	4,000 円／本 2,000 円／本	小・中学校利用は1人 50 円
ゴールボール	50 円／人	小・中学校一般
インドア雪合戦	50 円／人	小・中学校一般
モルック	50 円／人	小・中学校一般
キャンプファイヤー用薪・丸太代	5,830 円	ファイヤー場設置一式
キャンプファイヤー用トーチ棒	110 円／本	点火演出用
キャンプファイヤー用アローセット	1,020 円	点火演出用ワイヤー設置一式
キャンドル・ファイヤー用ろうそく	1,530 円	ローソクほかー式
薪代	350 円／束	
アジの干物作り	380 円／人	アジの干物：一人2枚分
クラフト	60 円～	予約が必要です 別紙参照
ジュース・水・お茶	160 円 ～380 円	団体の予算に合わせてご用意します 別紙参照
シュノーケリングセット：半日単位	100 円	
外部講師による講演など	内容により紹介 できます	業者と直接契約の謝金などは団体で お願いいたします

## 4. 入園式から退園式まで

### 持ち物について

個人の持ち物（例）

- ・上靴（学校の上履きや体育館履きなど：スリッパはご遠慮ください）・洗面用具・筆記用具・入浴セット（シャンプー・ボディソープは設置）・ねまき（トレーニングウエアーなど）・帽子・海用靴（かかとまで入る、濡れてもいい靴：ビーチサンダルは不可）・着替え（利用日分）・雨具（上下に分かれるカッパが望ましい）・水筒・健康保険証（可能な場合）など

団体の持ち物

- ・救急用品・ゴミ用ポリ袋・活動に必要な物品など

### 入園時について

入園時間は原則として13時以降16時までに入園してください。

引率責任者は、事務所へお越しください。打ち合わせを行います。

#### 確認事項

- ① 人数・食数・クラフトなど特別注文の確認
- ② 支払方法、請求書・領収書の内訳確認
- ③ 食堂テーブル人数食缶表の提出
- ④ 活動内容、活動場所、活動・生活時間の確認
- ⑤ アレルギー食の確認

#### 医務担当者

- 学園担当職員と打ち合わせ・引き継ぎ
- ① 医務室の使用方法および物品確認
  - ② 夜間救急時の対応について確認

### 退園時について

原則12時までに退園となっております。

## 入園式について

司会進行は利用団体でお願いします。

入園式の内容は特に決まったものではありませんが、下記の内容を参考にしてください。

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 入<br>園<br>式<br>例 | 1. これから南伊豆臨海学園の入園式を行います |
|                  | 2. 利用団体長（〇〇学校 校長先生）のお話  |
|                  | 3. 南伊豆臨海学園 園長の挨拶        |
|                  | 4. 職員紹介                 |
|                  | 5. 参加者代表の言葉             |
|                  | 6. これで入園式を終わります         |



オリエンテーションは入園式終了後、その場で引き続き行います。

## 宿泊室への移動について

下駄箱は玄関の正面にあります。

各宿泊室8名分縦一列に並んでいます。

事前に部屋番号を確認しておいてください。



各自の荷物はベッドの下に整理整頓して収納してください

※ 入室後、寝具のセット状況・ほうき・ちりとり・モップ・ゴミ箱などの備品の有無をご確認ください。

退園時、備品の数・セット状況確認後、事務所に報告してください。



## 宿泊室利用に関するお願い

宿泊室を安全に利用していただくために、下記の点に十分ご留意ください。  
事故のない活動こそ楽しく、思いで深い活動になります。

**「指導者の細やかな心配りで、楽しい活動を作り上げましょう。」**

### 非常口および避難経路の確認

- ①非常事態に備え、非常口・避難経路・避難場所を実際に歩いてご確認ください。
- ②館内活動中の避難経路については、館内見学とあわせて行い、ご理解いただくようお願いいたします。



### 二段ベッドを安全に利用するために

転落防止のために、次の点に注意してください。

- ・ 寝ぼけ癖のある方、二段ベッドに寝た経験の無い方は極力下段をご利用ください。
- ・ 活動で疲れると寝相が悪くなります。そのことを十分考慮したうえで、夜の見回りをしてください。
- ・ 二段ベッドの上段で、飛び跳ねたりして遊んでいることがあります。十分な安全指導をお願いします。
- ・ 二段ベッドの上段の手すりには絶対腰掛けないようにご指導ください。
- ・ 寝具をたたむときは、ベッドから降りてたたんでください。特に毛布やシーツのように大きいものは二人で協力してたたむようにご指導ください。

### ドアの開閉について

ドアの開閉は、勢いよく行わず、安全を確認した上で静かに開閉するようにご指導ください。

宿泊室の換気については別紙3「換気の方法について」を参照してください。

### その他について

- ① 野外活動に出かけるときは、宿泊室の消灯を確認後、窓・テラスは施錠し入口ドアは閉めておくようにお願いします。
- ② 寝具（毛布・シーツ・ベッドパット・枕）は、起床後、整理整頓するようにご指導ください。宿泊室内での飲食、火気（蚊取り線香・喫煙）の利用はお断りいたします。

## 生活基本時間について

学園での基本的な生活時間です。いくつかの団体が一緒に生活するため、他の人たちに迷惑をかけないように守ってください。

時	06			07	07	08	09	12	12	13	16	17	18	18	19	21	21	22
:				:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
間	00			15	30	30	00	00	40	00	00	30	00	50	00	00	30	00
活動内容	起床	清掃	朝の集い	朝食配膳	朝食	活動準備	活動	昼食	活動準備	活動	入浴	夕食配膳	夕食	活動準備	活動	反省連絡	就寝準備	就寝

### 入浴

夜の活動後にする場合は事前に申し出ができれば可能です。  
ただし入浴は、必ず午後9時30分までに完了するようにお願いします。



### 就寝時間後の活動

星の観察など必要があれば可能です。  
責任者同行のもと静かに行ってください。

### 清掃

宿泊室は毎日行ってください。時間帯は特に定めません。  
起床後・入浴後・就寝前など団体でご計画ください。  
清掃活動は、生活指導の一環です。



## 生活班の仕組みについて

全員が何らかの役割を分担し、**相互に協力して生活を作り上げるよう**にしましょう。

仕事をみんなで分け合い、各自が何らかの役割を分担するために、次のような係りを作ったらいかがでしょうか。

**生活班は、基本的に、宿泊室単位で構成**しましょう。

(例)

班 長	引率者との連絡・班のまとめ・班活動の運営と記録・人員の確認
副班長	班長への援助・戸締り消灯確認・清掃分担場所と清掃方法の確認
食事係	一人一品の盛り付け・食後の清掃点検・弁当の受取りと食べ終わりの処理
寝具係	シーツの受取りと返納・シーツ使用法の説明・ベッドの整理整頓
生活係	宿泊室の整理整頓および備品の点検確認・ゴミの処理・忘れ物確認
保健係	病人やケガ人の連絡や世話・入浴の連絡と片付け・宿泊室の換気
活動係	野外活動や体験活動の世話・教材用具の準備と片付け・水筒用意
レク係	ファイヤーなどの準備や運営・自由時間の使い方の世話

### 班に8人いない場合

班長と食事係は単独で、それ以外の係は、班の構成人員に合わせて兼務する形をお考えください。

### 生活班と活動班が別の場合

参加者に活動班と生活班の区別をしっかりと自覚させてください。

生活班は、あくまでも宿泊室単位で作ってください。

### 班や係の会議をする場所

ラウンジ・食堂などをご利用ください。

## 食事について

食事は、食缶で提供され、配膳および片付けはセルフサービスでお願いします。  
食堂に消毒用アルコールを置いてありますので、配膳前にご利用ください。

### 昼食

昼食は、基本的には園内での食事となり、お弁当形式となっております。

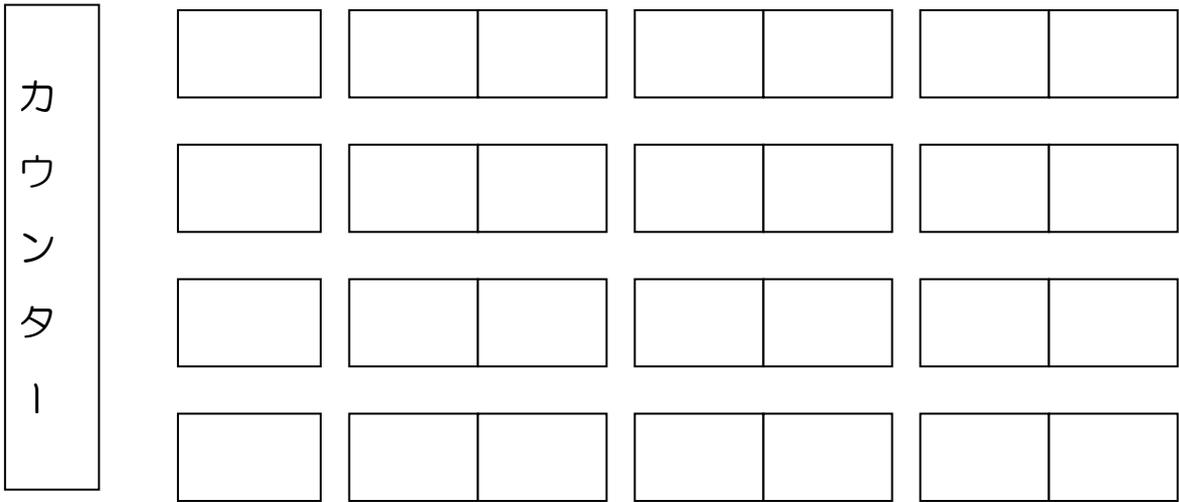
### 食事時間

原則として、朝食準備 7：15、食事開始 7：30  
夕食準備 17：30、食事開始 18：00 となっております。

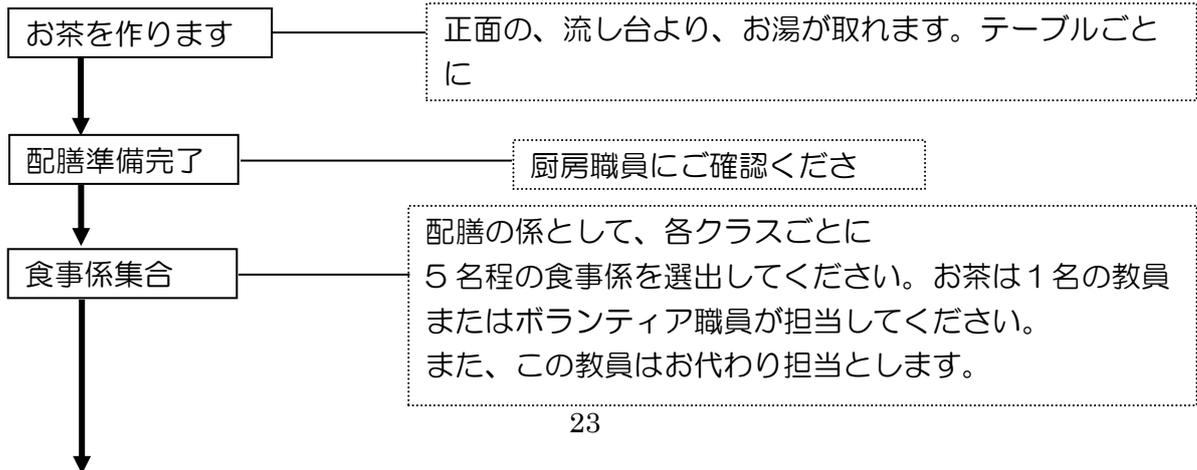
### テーブルの定員

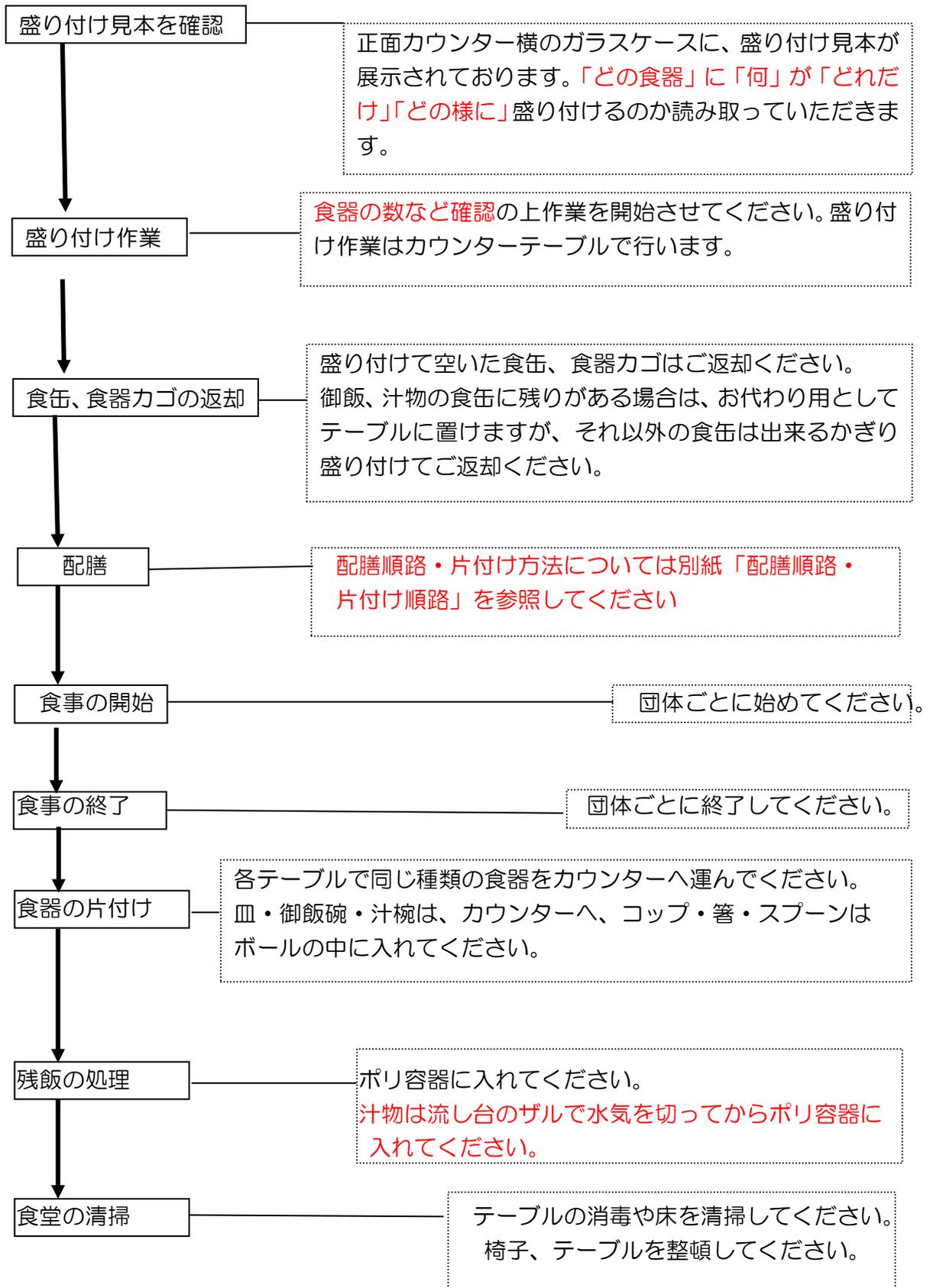
定員は6名です。

### 座席を決めてください



## 食事（配膳～片づけ）について





**Q 土地の産物など特別料理が食べたいのですが？**

A 注文をお受けします。予算を含めご相談ください。



**Q 持ち込みした物を食べたいのですが？**

A 食中毒防止のためにもお断りしております。

**Q 昼食は、お弁当にして持ち出せますか？**

A お弁当形式となっているため持ち出しは可能となっております。



**Q お弁当の持ち出しは何時からできますか？**

A 10時30分以後なら可能です。  
10時30分以前を希望の団体は相談してください。



**Q ジュースを冷したいのですが？**

A 食堂に冷蔵庫が1台あります。利用に際し食品の管理は団体の責任で管理をするようお願いします。

**Q 食物アレルギーの参加者がいるのですが、対応してくれるのでしょうか？**

A 献立をホームページでお知らせしますので、保護者による確認を行っていただき、その結果をアレルギー対応表に記入して提出し、学園の栄養士と相談してください。  
除去食などで対応することになります。  
また、場合によっては、対応食を持参していただくことがありますので、早めの連絡をお願いします。

## 入浴について

**16時から入浴可能です。**

プログラム上必要であれば変更も可能です。事前にご相談ください。

カランは1か所間隔を空けて使用してください。

脱衣場は指定している場所を使用してください。

野外活動中、雨に濡れてしまった場合、午前中でも、帰園しだい入浴可能な状態でお待ちしております。

**入浴時間の割当ては行いません。**



## 入浴終了時の点検確認

次の点に留意して点検・確認をしてください。

- ① 椅子・桶を洗って、壁際に積み重ねて置いてください。
- ② 蛇口の温度設定が40℃以下である事をご確認ください。
- ③ お湯・水の止栓をご確認ください。(注：浴槽の栓は、抜かないでください。)
- ④ 浴室、脱衣所の忘れ物をご確認ください。 ※ 浴室の換気扇は切らないでください

## シーツ・枕カバーについて

### シーツと枕カバーの受け取り

入園後、部屋ごとにラウンジで受取ります。使用法・返却方法についても同時に説明します。

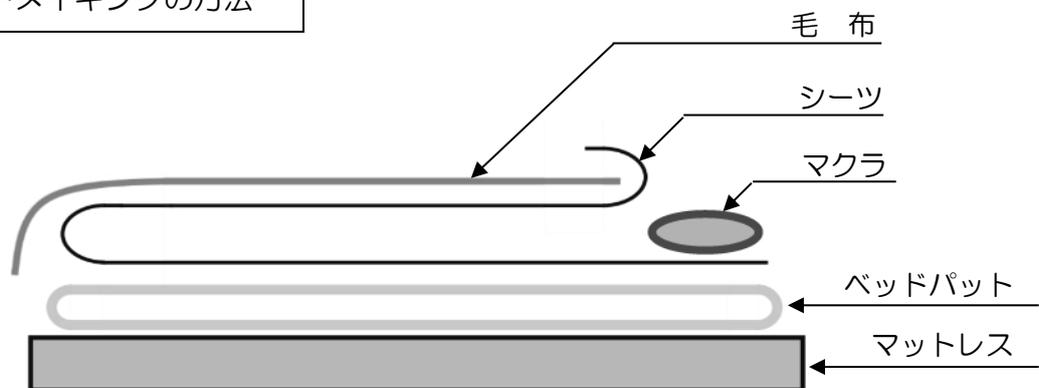
### シーツと枕カバーの返却

退園時、各自ラウンジへ持参してください。  
団体で数を確認した後、事務所に報告してください。



## ベッドメイクについて

### ベッドメイキングの方法



- シーツは、袋状になっています。中に身体を入れて寝ることになります。
- 起床時は、階段の反対側にベッドパット（4つ折）・毛布（8つ折）・シーツ（8つ折）をたたみ、順に積み重ねその上にマクラをセットします。
- 上段の寝具類をたたむときは、安全のため下に降りてたたんでください。

寝具の使用については別紙2「寝具の使用について」を参照してください。

## シャワー室の使用について

シャワー室のシャワーは、各個人別使用型になりお湯も使用できます。7人同時に使用できます。

### 更衣棚

男女同型で、各 108 人分の更衣棚があります。

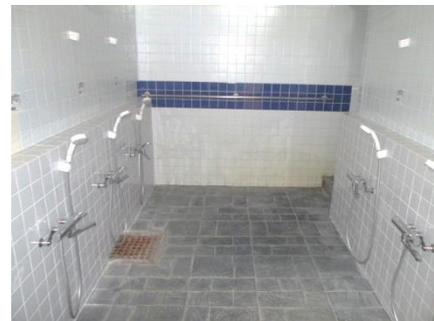
### 海の活動のときは必ず使用

海水浴など身体全体が濡れる活動後は必ずシャワー室から出入りしてください。

また、海活動後、館内では水着や濡れた姿では歩けませんので、必ず着替えをシャワー室か浴室に置いてから、海活動へ出かけてください。

### 使用後の点検

片付けや忘れ物の点検、止水のご確認後、事務所にご報告ください。



## 退園準備について

### 宿泊室の点検

次の点に留意して消灯確認や忘れ物点検をしてください。寝具類（ベッドパット・毛布・枕）のセット状況を確認してください。

宿泊室の清掃をしてください。



ゴミ処理の確認をしてください。

各部屋のゴミは、洗面所のポリのゴミ箱へ入れてください。

ビン類・缶類・その他の金属・燃えるゴミ・ペットボトルなどに分類してください。



### 会計

現金・振込み、どちらでも支払い可能です。

領収書・請求書の内訳（指導者・参加者・ボランティアなど）は事前にご相談ください。

**※なお、お振込みの場合手数料は、利用団体様のご負担となります。**

### 退園式について

司会進行は利用団体でお願いいたします。

退園式は玄関前で行います。（雨天時は、研修室で行います。）

退園式の内容は

退園式例	1. これから南伊豆臨海学園の退園式を行います 2. 利用団团长（〇〇学校 校長先生）のお話 3. 南伊豆臨海学園 園長の挨拶 4. 参加者代表の言葉 5. これで退園式を終わります
------	---

### 貸し出し備品について

品名	数量	品名	数量
卓球台	4台	天体望遠鏡	6台
プロジェクター	1台	星座早見盤	20枚
キャンドル燭台	2台	顕微鏡	5台
電子キーボード	1台	スコープ	5丁
携帯拡声器	1台	移植ゴテ	19丁
CD付ラジオカセット	1台	クラフトナイフ	200丁
DVDプレーヤー	1台	碁盤	3台
アンプ	1台	画板	200枚
シュノーケルセット	50組	バケツ	10個

備品の受け渡しの際は、必ず団体責任者もしくは準ずる方の立会いで行います。  
※貸し出し備品の破損、紛失、盗難は、団体の責任において、同様商品で弁償していただきます。



## 引率指導者へのお願い

◎健康と安全には、十分配慮してください。もしも急病人・事故によるケガ人が発生した場合は、適切な処置をするとともに事務所にご連絡ください。また、事務所入口横にAEDが設置されています

◎O157・ノロウイルスをはじめ衛生面に十分注意するとともに、弁当などの食品管理および手洗いや入浴のご指導をお願いします。

◎貴重品は、各団体の責任で保管してください。なお、事務所の金庫でお預かりすることもできます。

◎敷地内は禁煙です。



◎施設・設備・備品など破損や紛失した場合は、事務所にご連絡ください。

◎遅参、早退で、22時から6時までの夜間に、館内を出入りする方がいる場合は、事務所へ事前にご連絡ください。

◎食堂の冷蔵庫利用は、団体の指導者でお願いいたします。  
※ ヤカンで麦茶を冷やす場合、十分に粗熱を取ってから庫内へ入れてください。冷蔵庫の故障の原因になります。



◎飲料の管理は各団体でお願いします。(冷蔵庫に入れる等)

◎一階女子浴室横洗面所に、洗濯機があります。

◎持ち込んだものは、すべてお持ち帰りください。

## 医療機関について

子浦地区には、医療機関がありませんので、無理のない計画のもと、健康管理には十分に注意してください。

急病やケガ人が発生した場合は、早急に事務所までご連絡ください。

**夜間（22時以降）は、学園（0558-67-0255）へご連絡ください。** 移送が可能であれば、学園車にて病院までご案内いたします。（22時以降は、救急車・タクシーをご利用願う場合もあります）

### 近くの医療機関

飯島医院 （内科・小児科） TEL 0558（62）4500	南伊豆町下賀茂	車で20分
下田メディカルセンター （総合） TEL 0558（25）2525	下田市	車で50分
白津医院 （内科・外科） TEL 0558（62）3116	南伊豆町手石	車で30分
西伊豆健育会病院 （総合） TEL 0558（52）2366	西伊豆町仁科	車で60分
菊池医院 （内科） TEL 0558（22）2128	下田市	車で50分

### 健康保険証について

持参すれば安心ですが、大切な個人情報です。管理には十分注意してください。

**持参するか否かは団体の判断です。**

## 非常時について

**第一次避難所として学園中庭**が指定されています。

各宿泊室に、避難経路図が掲示してあります。実際に歩いて確認させてください。

急病、事故、ケガなど発生したときは、必ず事務所へ連絡ください。事務所終了後は、電話で学園

**0558-67-0255** までご連絡ください。

緊急時の行動について、班ごとに話し合う時間を設定し、参加者（児童・生徒）全員の理解と意識を高めてください。



## 共有部分の清掃について

**施設の清掃は原則として利用者が行います。**

退園前、各宿泊室の清掃を行ってください。

- ① 床 部：ほうき・モップ・掃除機を使用してください。
- ② ベッド：寝具類を指定通りにたたみセットしてください。
- ③ 木 部：ベッド・ドアなど木部部分は水拭きをお願いします。
- ④ 特別区：トイレ・浴室などは別指示があります。

入園後確認してください

**⑤あわせて利用した宿泊室の消毒もお願いします。**

※共有部分の清掃用具はラウンジにあります。

(単独利用は全館清掃をお願いします)



共有部分の清掃分担表 （空室ある場合や活動内容によって依頼区分が変わることもあります。）

室番	清 掃 区 分	室番	清 掃 区 分
101	101～106 室前廊下・トイレ側の階段	301	301～談話室前廊下・トイレ側の階段
102	101 室横洗面所およびゴミ処理	302	301 室前階段～男子浴室までの廊下
103	玄関・玄関前～スロープまで	303	食堂前廊下およびテラス
104	玄関ホールおよび一階への階段	304	食堂
105	ラウンジ	305	研修室
106	106 室前～玄関前スロープまでの外通路	306	研修室
201	201 室～玄関ホールまでの廊下	401	401～406 室前廊下・バルコニー
202	201 室横洗面所およびゴミ処理	402	男子浴室～研修室までのスロープ
203	玄関ホール～3階への階段と踊り場	403	シャワー室～男子浴室までの廊下
204	図書資料室・医務室前廊下	404	401 室横洗面所およびゴミ処理
205	駐車場～外スロープまでの通路	405	女子浴室横洗面所およびゴミ処理
206	中庭	406	中庭

#### 清掃用具の場所

1F ラウンジ	室内用ほうき、室内用ちりとり、モップ、掃除機
食堂前外壁	外用ほうき、外用ちりとり
中庭水道付近壁面	外用ほうき、外用ちりとり（キャンプファイヤー片付け用）

#### ゴミ処理について

各宿泊室のゴミで、洗面所のポリのゴミ箱が入らない場合は、ポリのゴミを事務所裏の分別収集所へ持参してください。

また、ポリ袋は事務室にありますので、お問い合わせください。



## 浴室の清掃について

お風呂の清掃は、学園で行っておりますが、お風呂清掃を生活指導の一環として実施する場合、退園に際し、浴室・脱衣所の清掃をお願いします。  
つきましては、下記要領で行うように指導のほどお願いいたします。



### 清掃用具

各浴室にデッキブラシ3本、スポンジたわし5個、ホースが用意されております。

### 清掃範囲と方法

洗い場	デッキブラシで洗ってください。浴槽の水は抜かないでください。
鏡および壁面	スポンジたわしで水洗いしてください。
イス・オケ	水洗い後、整理整頓してください。
脱衣所	脱衣棚の水拭き、掃き掃除をしてください。

## トイレの清掃について

トイレの清掃は、学園で行っておりますが、トイレ清掃を生活指導の一環として実施する場合、あるいは汚れが目付いたときは下記の要領で行ってください。

### 清掃用具

各トイレの清掃用具としてホウキ1本・ちりとり1個が用意されています。

### 清掃範囲と方法

洗面所： スポンジで水洗いしてください。  
床タイル： ホウキで掃いてください。



## 5. 野 外 活 動

南伊豆は、海の活動・山の活動と幅広い活動ができます。組み合わせによっては、海から山へ、山から海へと立体的な活動が企画できます。

### \*活動の参考例

プログラム	時期	人員	備 考
海水浴	6～9月	200人	安全には十分留意し必ずグループで行動してください
カッター体験	3～11月	60人	学園で直接指導します。
カヤック体験	4～11月	45人	海況状況によって、期間内でも出来ないことがあります
砂の造型	5～11月	200人	砂浜で楽しい造型作品を作ります
砂浜レク	年間	200人	ビーチバレー・綱引きや各種ゲームなど企画できます
雨天ブク	年間	100人	スラックライン、ゴールボールなど各種用意してあります。
自然観察	年間	200人	学園職員がガイドする場合は50人です
磯の生物観察	5～10月	200人	潮の干満を考慮し、安全には十分留意してください
地層の観察	年間	200人	船を利用すると地層のほか海蝕作用の観察もできます
天体観察	年間	200人	季節の星座を楽しむ。望遠鏡・星座早見盤等準備してあります
各種ハイキング	年間	200人	1日・半日コースなど各種あります
ウォーク・ラリー	年間	200人	十分な下見と実施計画
ポイント・ラリー	年間	200人	楽しみながら日和山の自然観察ができるように考えています
きもだめし	年間	200人	単独団体の宿泊利用であれば、館内も利用できます
キャンプファイヤー	年間	200人	キャンプの思い出に楽しいひとときを企画してください
キャンドル・ファイヤー	年間	200人	研修室で行います。楽しい思い出のひとときを企画してください
たわしゴルフ	年間	100人	館内や中庭で実施します
館内ラリー	年間	200人	夜間や雨天時、館内を利用して楽しい企画をしてください
クラフト	年間	200人	キャンドル、海草のしおりなどお土産や記念品作りができます
講演・座学	年間	200人	海の話、南伊豆の漁業の話などできます
アジの干物作り	年間	200人	アジの干物2枚作ります。お土産になります

## 活動計画について

### カッター

全長 7.2m 8本オールを使用するタイプの  
カッターが3艇あります。  
定員は各艇 22名です。

カッターの指導者は学園職員が直接指導いた  
します。  
カッター利用の経費はかかりません。  
1時間 30分を基本時間とします。



カッターを1日中貸切るとは他の団体の利用がな  
ければ可能です。他の活動と組み合わせて幅広い活  
動が可能となります。

### シュノーケリング

カッターの幅広い活用として、磯の生物観察、シュノーケリングをはじめ海の自然観察や環  
境調査など幅広いカッター利用ができます。ご相談ください。  
シュノーケリングレンタル (1セット半日 110円)



## カヤック

シットオントップタイプのカヤックで20艇あります。  
乗船定員は2名です。



カヤックの指導は学園職員が、指導いたします。団  
体で指導できる方がいる場合は、監視艇として2艇  
～3艇のお手伝いをお願いします。

### 利用経費

小・中学校の学校利用は1日1艇2,000円、小学  
校の場合、2名で乗り2ローテーション(半日交代)  
で使用すれば、一人当たり約500円になります。  
また、時間利用料金の設定はありません。最低半日  
を単位とします。

### カヤックの安全性

利用者全員が救命胴着を着用します。また、一  
般のカヤックと違い沈没する危険性も少なく、  
泳ぎながら乗り降り出来るタイプのカヤッ  
クです。指導者も一緒に参加し、安全性を含め  
監視(カヤック5艇に対して1艇の監視艇)に  
あたることをお願いします。



### カヤックの借り受け・返却

救命胴着は学園渡し、学園返却とします。

なお、救命胴着の返却方法は、水洗い後指定された  
場所(シャワー室前)に干して完了といたします。  
カヤックは、元あった場所に返却してください。パ  
ドルは学園職員がカヤック乗り場で渡し、返却とし  
ます。

### カヤックの航行範囲

妻良湾の東側海岸線沿い、妻良港手前までとしま  
す。



### カヤックの幅広い活用

磯の生物観察、シュノーケリングをはじめ海の自然観察や環境調査など幅広い利用ができま  
す。ご相談ください。

## ウォークラリー・コース

「子浦コース」「子浦日和山コース」など各種あります。それ以外に「ポイントラリー」「ぶらりんこ子浦」「チャレンジ子浦」などがあります。ご相談ください。



## 日和山の自然を楽しむハイキング

「チャレンジ日和山」などがあります学園職員にご相談ください。



## 自然観察ハイキング 地点図



## ハイキングコース

海から山へ、山から海へと立体的なコースが設定できます。行程図等資料をもらってください半日コース、一日コースなどご相談ください

## 「漁業の話」など講師依頼

現役の漁師さんに「海の話」「南伊豆の漁業」など講師を依頼する場合、内容・謝金を含めてご相談ください。学園職員による「ジオ」のお話は、日程の都合が合えば可能です。（費用はかかりません）

## クラフト

学園で準備されているものがありますので資料をお持ち帰りください。



サザエキャンドル



海藻のしおり

クラフトは予約をしてください。  
必ず事前に予約をお願いします。  
雨プロとして計画の際は、晴天時は自動的にキャンセルとなります。  
特別注文書に記入しメールまたはFAXで学園へお送りください。



ペーパーウェイト

## スラックライン

スラックラインとは？

スラックラインとは、幅5cmで長さ15m前後のベルト状のラインを利用したスポーツです。テンションを張ったラインの上でバランス感覚や集中力などを鍛えることができます。

室内用のライン1本と15mのライン3本があります。

スラックラインの指導は学園職員が行います。

利用経費

小・中学校の学校利用は1人50円。

例) 児童生徒が100名の学校の場合  
は5,000円となります。



## 館内ゲーム

「たわしゴルフ（ゲートゴルフ）」など、全館使用してゲームを行うときは、他の利用者との兼ね合いがあります。計画立案時にご相談ください。



## アジの干物作り

アジの干物作りの時間は、約2時間～2時間30分を要します。乾燥させる時間を考えると入園日の午後がベストです。

アジの干物は雨プロとして利用できません。  
生ものなので、キャンセルおよび雨天中止ができません。



持ち帰り用の発泡スチロール等は各団体でご用意ください。

550円で発泡スチロールのご用意もできます。1個＝1クラス分です。

代金は入園時に現金でお支払いください。退園時までには領収証をご用意いたします。

## ビーチコーミング

子浦海岸へ打ち上げられた海草やゴミを使い造形物を作ります。またゴミがどこから流れてきたかなど調べながら活動すると環境教育へとつなげることができます。



## ビーチクリーン

子浦海岸の清掃活動です。たのしい思い出を作ってくれた子浦海岸へ感謝をこめて海岸を清掃します。



## 夜の活動

### ナイトウォーク

日和山は夜行性動物（イノシシなど）に注意して、行ってください。子浦地区は漁港です。早い時間に就寝される方もいますので、大きな声を出して歩かないでください。

### 肝試し

園内・園外で行えますが園外で行う場合は、子浦地区は漁港で近隣に民家等があるため、コース設定は学園職員にご相談ください。

園内で行う場合、二校利用の場合は相手校と打合せを行ってください。

学園に3箇所ある緑の防火扉には触れないでください。

## キャンプファイヤー

中庭キャンプファイヤー場にて利用団体主催で行ってください。必要な物があれば、団体で用意してください。終了後、ファイヤー場にある屋根をつけ、できるだけ薪を灰にします。翌朝、ファイヤー場を掃除してください。



(灰はドラム缶へ、ほうき等はアジ開きの流し場壁面にあります)

## 雨天プログラム (雨プロ)

### 学校開放 (旧三浜小学校体育館)

雨天プログラム用に、旧三浜小学校体育館を借りることが出来ます。南伊豆町への申請手続きは、学園で行いますので事前の申請（特別注文書）に記入をお願いします。半日 1,200 円です。

バスケットコート 1 面ほどの広さです。

